

薬物乱用防止教室 6年生

1月22日



学校薬剤師の村瀬先生から、薬物乱用の怖さや体への影響を教えてくださいました。



6年生のみんなは、真剣に聞き学びました。そして、考えました。



- 薬物は身近な生活にはないものだと思っていたけれど、身近にあることに驚きました。市販の薬や病院で処方された薬は、正しい量を使うこともわかりました
- やめようと思えばやめられると思っていたけれど、依存症があり、やめたくてもやめられない薬物の恐ろしさを知りました。どんなことがあっても薬物は使ってはいけないと思いました。
- 1回薬物を使っただけでもやめられなくなって、事故や犯罪を起こしてしまうことがわかりました。自分の将来を壊すことになりかねないので、絶対に手を出さないようにしたいと思いました。